



株主通信

第62期 報告書 2023.1.1 ▶ 2023.12.31

P9》

新中期経営計画(2024年~2028年)
株主優待制度の拡充について

P11》特集

LOOK Group事業トピックス
LOOK Groupのサステナブルな取り組み
株主様アンケート結果報告

株式会社 ルックホールディングス

Brand Information

ブランドのご紹介



2025年
春
スタート



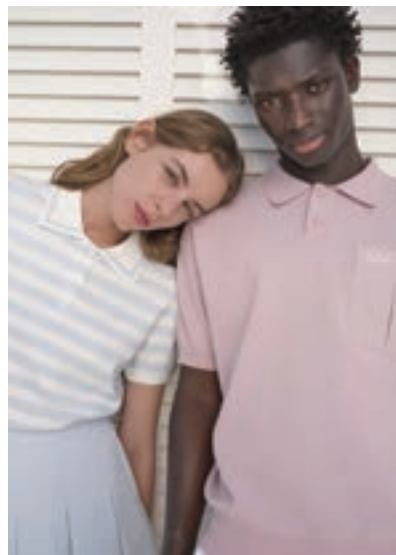
スマイソン

1887年創業のイギリスを代表する高級ステーションリー&レザーグッズブランド。2025年春より独占輸入販売をスタートいたします。

A.P.C.

アー・ペー・セー

本質的なエレガンスを追求した、ミニマルかつラディカルなモダン・フレンチスタイルを提案。



A.P.C.

アー・ペー・セー ゴルフ

A.P.C.が追求するエッセンスにユーモラスな要素を加え、コースと日常のどちらでも楽しめるゴルフウェアライフスタイルを提案。



LAISSÉ PASSÉ

レッセ・パッセ

「上品、可愛いものが好き」のDNAを持ちつつも世の中のトレンドも大人可愛く取り入れたい！そんな女の子達の気持ちを満足させるアイテムをシーンごとに展開していきます。



SCAPA

スカヤパ

1967年創設 ファッション都市アントワープ発信のブランド。



lepetto

PARIS

レペット

1947年、ローズ レペットがダンスシューズをデザインしたことから始まったブランド。伝統的な技術を用いて手作りされた靴は、確かなクオリティと美しさを約束します。



イルビゾンテ

イタリア・フィレンツェ発バッグ・革製品ブランド。タンニン鞣しを施した良質なレザーは、上品な表情でありながらタフ、そして使い込むほどにエイジングが楽しめます。



イルビゾンテ ウォモ

2008年秋冬コレクションからスタートした、メンズライン。創業者ワニー・ディ・フィリップのユニークなデザインはそのままに、洗練されたメンズアイテムをご紹介します。



イルビゾンテ ジュエリー

創業者ワニー・ディ・フィリップが長く尊んできた価値観を、スターリングシルバーに込めて表現した、ブランド初のジュエリー。



marimekko

マリメッコ

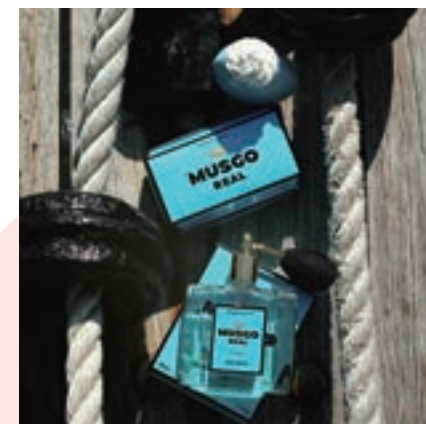
独創的なプリントや色使いによって世界中に広く知られるフィンランドのデザインハウス。



KEITH

キース

プリティッシュトラディショナルを継承しながら進化を続けるキースは、自分らしさを常に意識する女性の為のブランドです。



CLAUSPORTO

クラウス ポルト

130年以上の歴史があるポルトガルのボディケアとフレグランスのブランド。ポルトガルの香りや風景からインスピレーションを得たフレグランスをベースに、様々な商品を展開しています。





ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。この度の令和6年能登半島地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。ここに、当社グループの第62期（2023年1月1日から2023年12月31日まで）における事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後も、当社グループは「お客さま第一主義」のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 夕田和洋

当期の事業環境と業績の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み個人消費に持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、資源・エネルギー価格をはじめ様々な物価の上昇や急激な円安の進行、地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、物価上昇の影響等による生活防衛意識の高まりが懸念されるものの、旅行やイベント等への外出機会の増加やインバウンド消費が伸長するなど、総じて回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、当事業年度を最終年

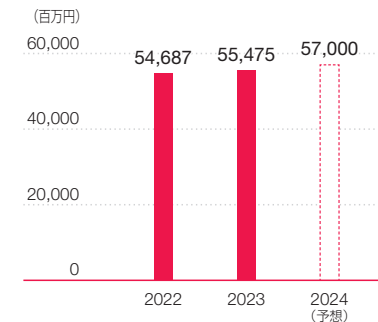
度とする「中期経営計画」で掲げる重点政策を、経営環境の変化に柔軟に対応しながら、継続的に推し進めてまいりました。EC事業の強化策に取り組むとともに、行動制限の緩和に伴い店舗販売にも注力してまいりました。また、不採算事業の終了など、徹底した効率経営にも努めてまいりました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は554億7千5百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は30億6千9百万円（前年同期比17.1%減）、経常利益は35億7千8百万円（前年同期比10.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は24億5千8百万円（前年同期比7.7%減）となり、中期経営計画で掲げた業績目標の経常利益30億円を上回りました。

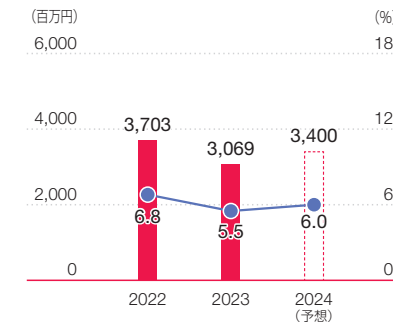
財務ハイライト（連結）

当期の業績			
売上高	554億7千5百万円	経常利益	35億7千8百万円
営業利益	30億6千9百万円	親会社株主に帰属する当期純利益	24億5千8百万円

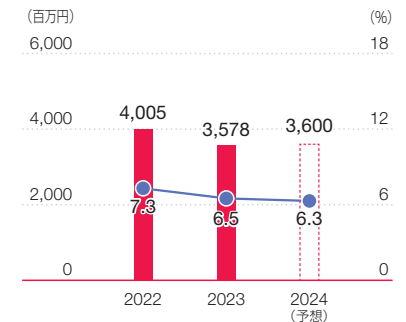
■売上高



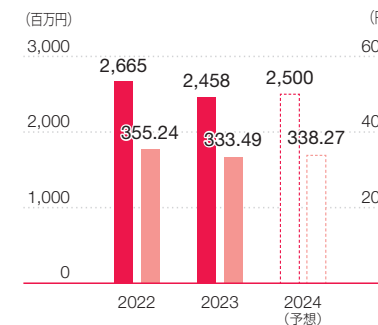
■営業利益 ●営業利益率



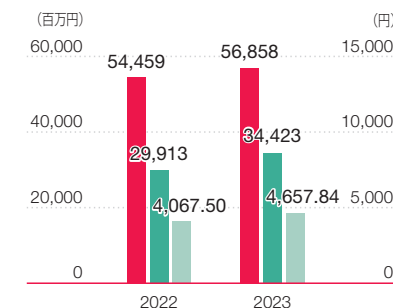
■経常利益 ●経常利益率



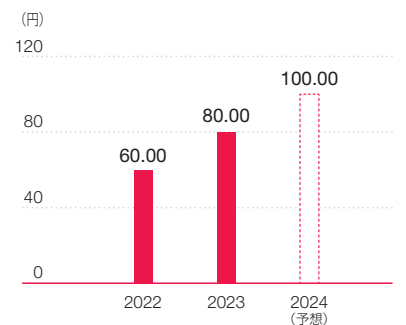
■親会社株主に帰属する当期純利益
■1株当たり当期純利益



■総資産 ■純資産 ■1株当たり純資産



■1株当たり配当金



セグメント別業績の概況

※売上高および売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

アパレル関連事業

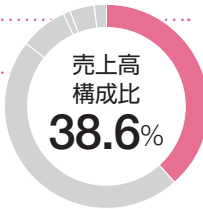
日本

売上高 **237億8千万円**
(前年同期比0.9%減)

営業利益 **18億1千8百万円**
(前年同期比2.6%増)

直営店や百貨店の集客が回復傾向にある中、「スキャパ」においては、年間を通じてジャケットアイテムの販売が好調に推移したことや受注会の開催等、顧客との関係強化策が奏功し売上が好調に推移いたしました。主力ブランドの「マリメッコ」では、バッグカテゴリーの販売が好調に推移したことやインバウンド需要を取り込む等、プロパー販売強化により売上が堅調に推移いたしました。「A.P.C.」では、5年振りとなる音楽イベントや顧客向けの

ワークショップを開催しブランドプレゼンス向上に注力いたしました。また、大手セレクトショップへの卸売が伸長し売上高が増加いたしました。「イル ビゾンテ」では、インスタグラムやLINEの公式アカウントを開設しSNSでの発信を強化するとともに、「GREGORY」等とのコラボレーション商品の発売によるブランド価値向上施策を実施するなど、新規顧客の獲得に取り組んでまいりました。EC事業においては、店舗受け取りサービスの拡大等、お客様の利便性向上に引き続き取り組むとともにEC限定ギフトセットの導入、ラッピングサービスの拡充によるギフト需要への対応を強化したものの、行動制限の緩和に伴い店舗への集客が伸長したことなどにより売上高が減少いたしました。



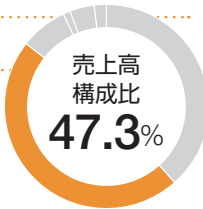
韓国

売上高 **291億6千4百万円**
(前年同期比2.8%増)

営業利益 **18億9千4百万円**
(前年同期比31.2%減)

「韓国」につきましては、物価高騰による消費者心理の委縮や、海外旅行先での消費が活発化するなどの影響により百貨店の集客・売上高ともに減少傾向にあり、インバウンド消費

についても中国人観光客の売上の回復が遅れており厳しい状況が続いております。株式会社アイディールック、株式会社アイディージョイにおいても、主力市場である百貨店インショップでは売上高が減少したものの、自社ECサイト「I. D. LOOK モール」を含むオンラインストアは堅調に推移し、アウトレット店舗でのセール販売は順調に推移いたしました。

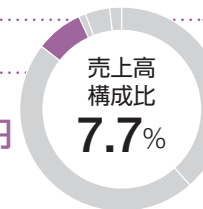


欧州

売上高 **47億2千7百万円**
(前年同期比7.6%増)

営業利益 **1億4千2百万円**
(前年同期比11.8%増)

「欧州」につきましては、主にイタリアの直営店が、米国及び欧州からの観光客の増加により順調に推移し、主力の卸事業も堅調に推移いたしました。

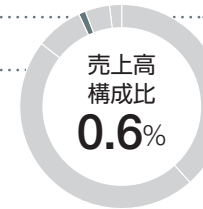


その他海外

売上高 **3億4千万円**
(前年同期比24.9%減)

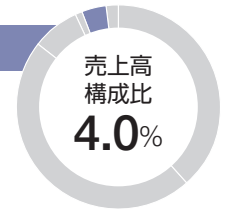
営業損失 **4千9百万円**
(前年同期は9千9百万円の営業損失)

「その他海外」(香港・中国・米国)につきましては、米国において「イル ビゾンテ」の小売事業での売上高が増加した一方、採算性が悪化した香港、中国の事業を終了いたしました。



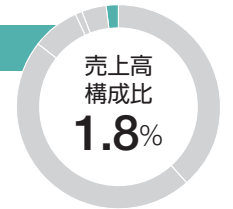
生産及びOEM事業

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、グループ内への売上高、外部受注ともに増加した結果、売上高は24億4千9百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は6千8百万円(前年同期比179.4%増)となりました。



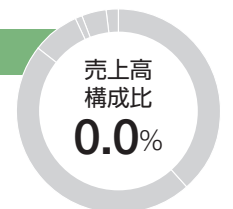
物流事業

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、グループ内への売上高が減少した結果、売上高は11億4千3百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益は2千2百万円(前年同期比52.1%減)となりました。



飲食事業

「飲食事業」につきましては、株式会社ルックが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、当連結会計年度の売上高は6百万円(前年同期は5千3百万円)、営業損失は6百万円(前年同期は2千7百万円の営業損失)となりました。なお、「ジェラテリア マルゲラ」は今後の採算性が見込めないため2023年4月をもって終了いたしました。



次期の見通し

業績予想 (連結)	売上高	570億円	(前年同期比 2.7%増)
	営業利益	34億円	(前年同期比 10.8%増)
	経常利益	36億円	(前年同期比 0.6%増)
	親会社株主に帰属する 当期純利益	25億円	(前年同期比 1.7%増)

2024年度のわが国経済の見通しにつきましては、景気は緩やかに回復していくことが期待されるものの、原材料やエネルギー価格をはじめとした物価の上昇、為替市場の動向、海外景気の下振れ懸念、地政学リスクの高まりなど依然として不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況において、当社グループは更なる企業価値向上を目指して、2028年を最終年度とする新中期経営計画を策定いたしました。

本計画におきましては、主に3つの政策に取り組んでまいります。

「収益基盤の更なる拡大」においては、国内主力事業であるライフスタイルブランドで30店舗、海外では韓国主要ブランドで30店舗、合計約60店舗の出店を計画するとともにEC事業では、OMO施策の推進によるお客さま満足の永続的な追求により、グループEC売上高140億円、グループEC売上比率20%を目指してまいります。また、北米事業において、「Il Bisonte N.Y.店」に続く新規出店を推し進めるとともに東南アジアなど新規エリア進出の検討を開始しております。新規事業開発では、お客さまのニーズの変化に対応すべく、「衣食住+美」の価値提供に寄与する新ブランドの

開発、M&Aや業務提携を視野に、ワールドワイドな観点から検討を進め、新規事業において売上30億円(2028年)を目指してまいります。国内においては、2025年春よりイギリスの老舗レザーグッズブランド「スマyson」の販売を開始、韓国では、2024年春よりフランスの「FURSAC」、秋よりイタリアのファッションブランド「MSGM」の販売を開始いたします。

「資本政策の充実化」では、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、成長性と収益性の両立、株主還元強化、IR開示情報の充実化を行うことでROE、PERを向上させてPBR1倍を目指してまいります。株主様への利益還元については、2023年12月末の株主様より株主優待制度のご優待金額アップ等の拡充を実施、2024年度以降の配当については、配当性向30%以上、配当額の下限を調整後DOE2.0%とするなど、資本政策の充実を図ってまいります。

「ESG戦略の強化」では、店舗での衣料品回収の拡大や環境に配慮した副資材への切り替え、温室効果ガスの算定・可視化に取り組むなど環境に配慮した事業活動を推進してまいります。

また、企業価値の最大化に向けて、従業員が個々の能力や個性を最大限発揮し、働きがいや成長を実感できる環境を整備いたします。併せて、人権方針及び調達方針を開示し持続可能なサプライチェーンの構築を目指してまいります。

当社グループでは、更なる企業価値向上を実現すべく、これらの施策を実行し、安定的な利益構造の確立に向けた事業戦略と効率運営を推し進め、中期経営計画最終年度の2028年には、連結売上高700億円、連結営業利益50億円を目指し

てまいります。

なお、2024年12月期の連結業績につきましては、連結売上高570億円(前年同期比2.7%増)、連結営業利益34億円(前年同期比10.8%増)、連結経常利益36億円(前年同期比0.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益25億円(前年同期比1.7%増)を見込んでおります。

新中期経営計画についてはこちらをご覧ください →

https://www.look-holdings.jp/irinfo/investors/pdf/managementplan2024_2028.pdf



次期の配当について

株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策のひとつであると認識し、健全な財務基盤の維持、積極的な事業展開に備える内部留保の充実を図りつつ、収益状況を勘案しながら利益配分を実施することを基本方針としております。

本年よりスタートした「中期経営計画(2024年~2028年)」では、この基本方針のもと新たな資本政策の一環として株主還元強化を掲げており、配当性向30%以上、配当額の下限は調整後DOE*2.0%という基準を設定いたしました。

これにより、2024年12月期の配当(予想)につきましては、上記に沿って1株当たり100円を予定しております。

*調整後DOE: 支払配当÷前期末調整後自己資本(為替換算調整等の一過性変動要素を除外した自己資本)

1

収益基盤の更なる拡大

2

資本政策の充実化

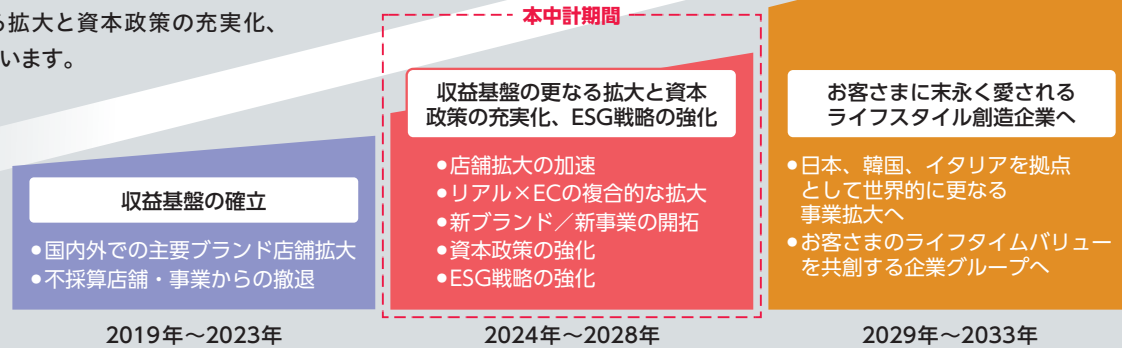
3

ESG戦略の強化

新中期経営計画 (2024年～2028年)

当社は、2028年を最終年度とする中期経営計画(2024年～2028年)を策定しました。

長期ビジョンである「お客さまに末永く愛されるライフスタイル創造企業」のために、本中計期間では「収益基盤の更なる拡大と資本政策の充実化、ESG戦略の強化」を行います。



目標値

業績目標

売上高
700億円
日本300億円／海外400億円

営業利益
50億円

営業利益率
7%以上

目標とする経営指標

配当性向
30%以上
配当額の下限は調整後DOE*2.0%

ROE
10%

※調整後DOE：支払配当÷前期未調整後自己資本（為替換算調整等の一過性変動要素を除外した自己資本）

収益基盤の更なる拡大

計画5期目に売上高700億円、営業利益50億円を達成するために、下記成長戦略を実行いたします。また成長戦略を支える事業基盤の増強を実施いたします。

- 主要ブランド拡大による**安定した収益基盤の構築**
- 主要ブランドの**新規エリア出店強化**
- デジタルを駆使した**購買体験の変革**
- 新たな事業の柱となる**新ブランド・新事業の開拓**

資本政策の充実化

資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、成長性と収益性の両立、株主還元強化、IR開示情報の充実化を行うことでROE、PERを向上させ、PBR1倍の実現を目指します。

- 具体的な施策**
- 株主還元強化(例：株主優待制度の拡充について → P.10)
 - IR開示情報の充実化(例：自社ホームページでの財務情報及び外部サイトでの決算情報の拡充)
- ホームページ内IR情報はこちら → <https://www.look-holdings.jp/irinfo/>

ESG戦略の強化

ルックグループは持続可能な社会を目指した事業活動を展開してまいります。

- 環境に配慮した事業活動の推進
- 多様性の尊重と働きがいの向上
- 客観性・透明性を高め、法と企業倫理に合った誠実で公正な事業活動

株主優待制度の拡充について



詳しくはこちら

この度、当社株式への投資魅力を一層高め、中長期的に保有いただける株主様の一層の拡大を図ることを目的として、株主優待制度の内容を拡充いたします。

1. 名称を「株主優待割引券」から「株主優待商品券」に変更いたします。

2. ご優待内容の充実

- ご優待金額のアップ
- 株主優待商品券の金額に合わせた、「**お得なお楽しみ詰め合わせパック**」を新たにご用意(オンライン限定)
- 現在、オンライン限定で使用可能な株主優待商品券を一部店舗においても2024年4月1日以降よりご使用いただけるようにいたします。ご使用いただける店舗は、下記リンク・QRコードからご確認ください。ご利用いただける店舗は今後更新してまいります。

2024年4月1日以降に株主優待商品券をご使用いただける店舗 →

https://www.look-holdings.jp/irinfo/investors/pdf/stores_using_shareholder_benefit_coupons.pdf



ご優待金額の変更内容

変更前			変更後		
保有株式数	継続保有期間	優待内容	保有株式数	継続保有期間	優待内容
100株以上	3年未満	2,000円の株主優待割引券を進呈	100株以上	3年未満	4,000円の株主優待商品券を進呈
400株未満	3年以上*	2,500円の株主優待割引券を進呈	400株未満	3年以上*	5,000円の株主優待商品券を進呈
400株以上	3年未満	4,000円の株主優待割引券を進呈	400株以上	3年未満	8,000円の株主優待商品券を進呈
	3年以上*	5,000円の株主優待割引券を進呈		3年以上*	10,000円の株主優待商品券を進呈

*「継続保有年数3年以上」とは、毎年12月末日および6月末日の株主名簿に同一株主番号で7回以上連続して記載または記録されていることといたします。

お得なお楽しみ詰め合わせパックの一例

ブランドは、「イル ビゾンテ」「マリメッコ」「クラウド ポルト」「A.P.C.」の4つからお選びいただけますが、商品内容をお選びいただくことはできません。(写真はイメージです。)

5,000円お楽しみ詰め合わせパック(1万2,500円相当)



8,000円お楽しみ詰め合わせパック(2万円相当)



LOOK Group事業トピックス

新たな事業の柱となる新規事業開拓

「衣食住+美」の価値提供に寄与する新ブランドの開発

株式会社ルックホールディングスは、日本市場において、2025年春よりイギリスを代表する高級ステーショナリー&レザーグッズブランド『Smythson』の独占輸入販売をスタートいたします。



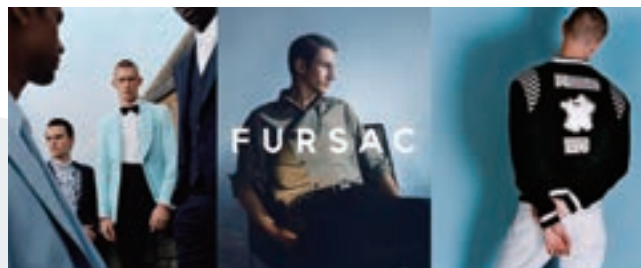
● **ブランド名：Smythson(スマイソン)**

ブランド概要：銀細工職人であったフランク・スマイソンが1887年に創業した「Smythson」は、創業間もなく瞬く間に人気を博し、愛用者には故エリザベス女王、チャールズ国王、グレース・ケリー、グウィネス・パルトロウをはじめとした王室ファミリーや有名人が名を連ねます。「Smythson」のノートブックやダイアリーはコンパクトで軽く、持ち運びやすいアイテムとして人々を魅了。筆記用具、ステーショナリー、旅行用レザーグッズなどもラインナップし、今の時代に合ったコレクションが世界中で愛用されています。

株式会社ルックホールディングスは、韓国市場において、2024年春よりフランスのファッションブランド『FURSAC』を、2024年秋よりイタリアのファッションブランド『MSGM』の独占輸入販売をスタートいたします。

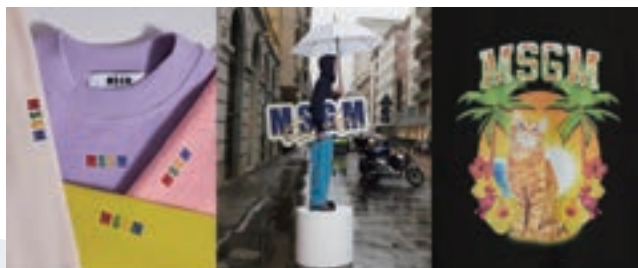
● **ブランド名：FURSAC(フルサック)**

ブランド概要：1973年にパリで設立されたフランスのブランド。時代に流されることのない要素を取り入れ、今や洗練されたメンズウェアの代名詞的存在に。シャープなテーラリング、洗練された素材、非の打ちどころのない職人技が特徴です。



● **ブランド名：MSGM(エムエスジーエム)**

ブランド概要：DJ兼ファッションデザイナーのマッシモ・ジョルジュエティが2009年に設立したイタリアのファッションブランド。大胆なグラフィックプリントやユニークなテクスチャーが特徴のコレクションを発表し、立ち上げ当初から常に注目を集めています。



主カブランドのブランド価値向上のための取り組み

イベントや魅力的なブランドとのコラボレーション

「イル ビゾンテ」では、2023年11月に米国カリフォルニア発アウトドアブランド「GREGORY」とのコラボレーション商品を販売いたしました。(写真右上)「A.P.C.」では、2023年11月にPokémonとのコラボレーション商品を販売し、渋谷PARCO50周年企画のひとつとしてポップアップショップを展開いたしました。(写真左)また、5年ぶりとなる音楽イベントや顧客向けのワークショップを開催いたしました。(写真右下)

いずれも訴求力が高いトピックとなり、新たなブランド価値を生み出し新規顧客の獲得や売上の拡大につながりました。

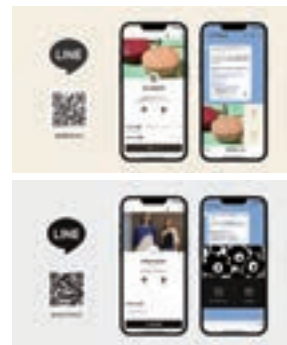


デジタルマーケティングの強化

SNSの積極的な導入

デジタルマーケティングの強化の一環として、「イル ビゾンテ」では、2023年2月から3月にかけてinstagram、Facebook、LINEの各日本公式アカウントを開設いたしました。また、「マリメッコ」においても、2023年7月にLINE公式アカウントを開設いたしました。新商品や限定商品、フェアやイベントなどの最新情報を配信しております。

お客さまにブランドの魅力をお伝えする場を増やしタッチポイントの強化を図ることで、お客さまの利便性向上 とともにブランドの更なる認知拡大、価値向上を進めてまいります。



海外事業

韓国市場におけるA.P.C. GOLFの積極的な新規出店

株式会社アイディールックでは、「A.P.C. GOLF」において、2023年度中に7店舗の新規出店をいたしました。2022年春夏シーズンより世界に先駆けて韓国市場にて販売を開始した同ブランドは、合計で13店舗体制となりました。

2024年度は、エントリープライスの商品企画により価格の幅を広げ、新規顧客の獲得につなげてまいります。



A.P.C. GOLF ロッテ・本店

2

LOOK Groupのサステナブルな取り組み

ルックグループの「サステナビリティ・CSR」についてはこちら



※写真のうち赤系カラーの商品の販売はございません。

A.P.C. リサイクルポリエステルを使用したショッパー販売からの寄付

「A.P.C.」では、環境への負荷を軽減するために2022年5月より従来の紙製のショッピングバッグを中止し、繰り返し使用可能なリサイクルポリエステルで作られたショッパーの販売を開始しております。このプロジェクトから得られた収益の一部を「人と自然が調和して生きられる未来を目指す」WWFジャパンの環境保全活動へ寄付しており、2022年度、2023年度にご購入いただいたショッパーからの寄付金額は、合計で8,067,126円となりました。

大変好評を頂いており、今後もお客さまとともにこの取り組みを進めてまいります。

KEITH デッドストック生地を活用した「Surplus Plan」をスタート

「キース」では、2023年秋冬シーズンより国内産地のデッドストック生地を採用した企画商品「サープラスプラン」を展開いたしました。対象商品には、オリジナルのマークが入った下げ札を付けて展開しております。尾州や北陸産地など従来の取引先からデッドストックの在庫情報を集め、2023年秋冬シーズンは6素材を用いてジャケットやブラウスなどに仕立てました。2024年春夏も19素材の投入を予定しており、今後も環境に配慮しながら物づくりを進め、ブランドの付加価値を高めてまいります。



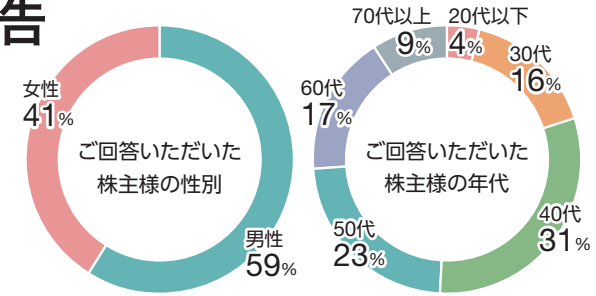
Il Bisonte S.p.Aでのソーラーパネルの設置

イタリアのIl Bisonte S.p.Aでは、環境に配慮したエネルギーの導入を目的として2023年7月より保有する倉庫(1,800㎡)にソーラーパネルを設置いたしました。設置後、消費電力は昨年と比較して約40%削減することができました。

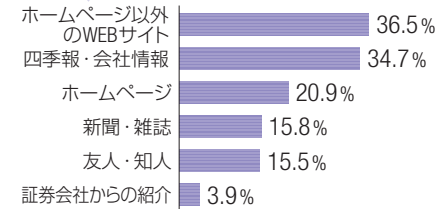
3

株主様アンケート結果報告

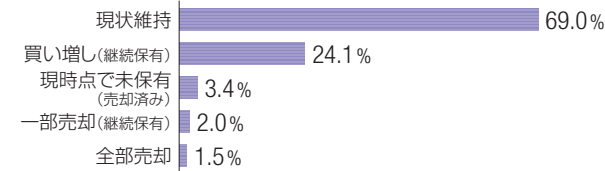
2023年9月～2023年10月にかけて実施いたしました「株主様アンケート」では406名の株主の皆様からご回答を頂戴いたしました。皆様のご協力に感謝を申し上げますとともに、頂戴しました貴重なご意見は今後のIR活動等の参考とさせていただきます。以下に、今回の「株主様アンケート」の結果の一部を掲載いたします。



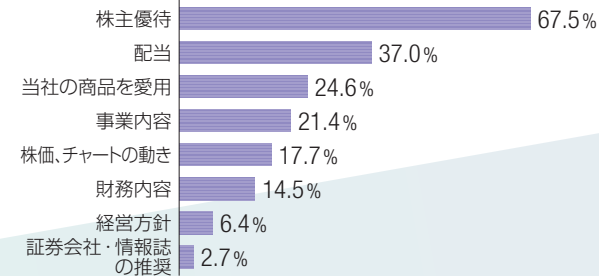
当社株式を購入・取得されるきっかけとなったものは何ですか?(複数回答可)



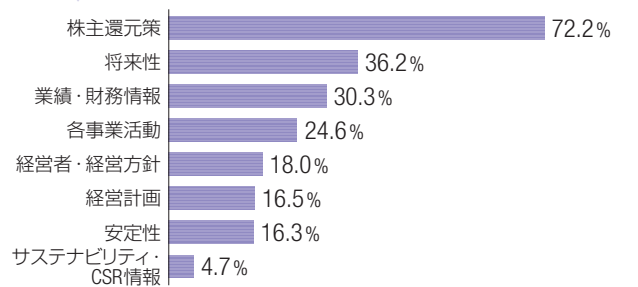
今後の当社株式の保有方針について次のうちから1つお選びください。



当社株式を購入された際、重視されたポイントをお聞かせください。(複数回答可)



当社において、どのような点について関心をお持ちですか?(複数回答可)

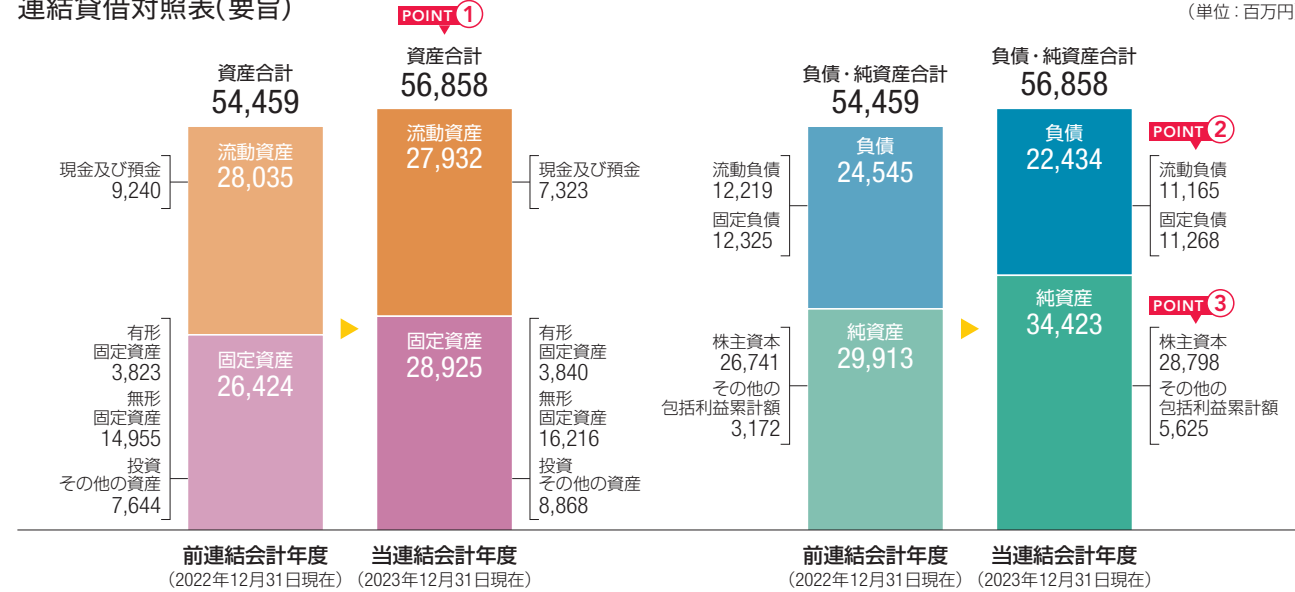


担当者からひとこと

当社株式を購入された際の重視されたポイントや、当社への関心については、「株主優待」、「株主還元策」を非常に多くの株主様が選択されておりますが、昨年と比較しても増えており、より多くの株主様から期待をお寄せいただいております。また、「将来性」や「経営計画」についても昨年と比較してより多くの株主様が選択していらっしゃいました。当社は、2024年から2028年の5年間を期間とする中期経営計画を策定いたしました。計画には、事業戦略や新たに資本政策の充実化として株主還元の強化を掲げております。これらの計画をもとに持続的な成長と、更なる企業価値の向上を図ってまいります。

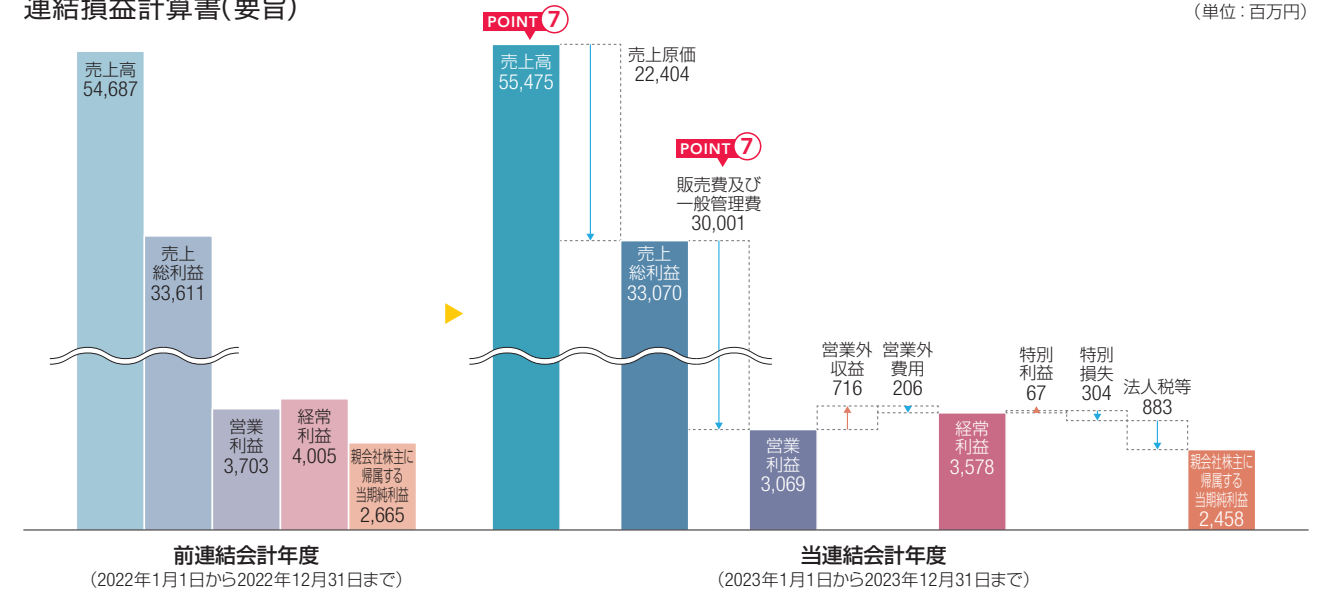
連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



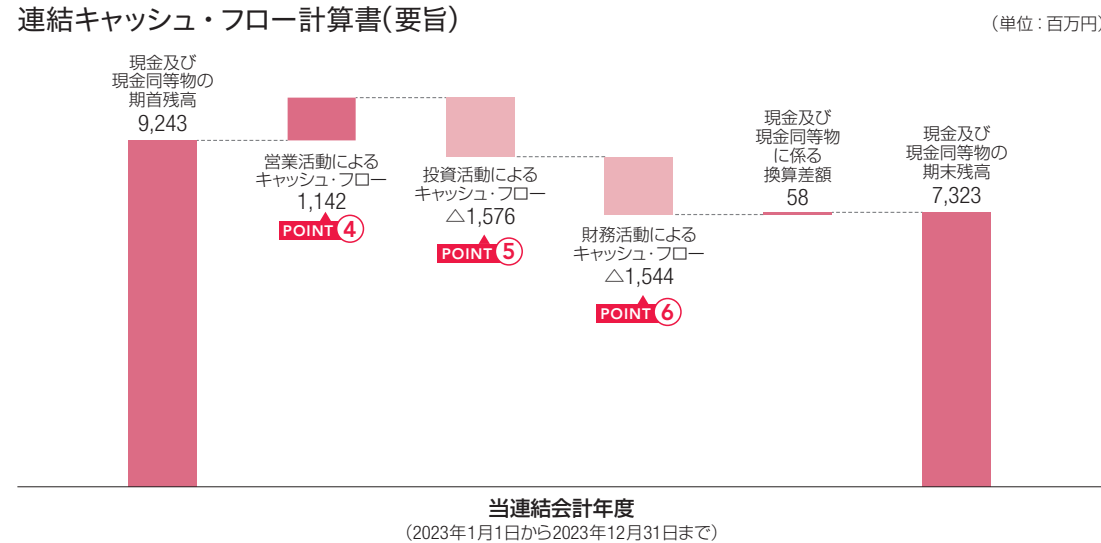
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)



POINT 1 資産の部

現金及び預金が19億1千6百万円減少しましたが、商品及び製品が10億9百万円、マーケティング関連資産が7億5千4百万円、投資有価証券が8億3千6百万円、退職給付に係る資産が5億8百万円、それぞれ増加したことなどにより、568億5千8百万円となりました。

POINT 2 負債の部

支払手形及び買掛金が9億5千7百万円、借入金が9億7千7百万円、それぞれ減少したことなどにより、224億3千4百万円となりました。

POINT 3 純資産の部

利益剰余金が19億9千5百万円、為替換算調整勘定が17億3千7百万円、それぞれ増加したことなどにより、344億2千3百万円となりました。

POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益は33億4千2百万円となり、増加要因として非資金項目である減価償却費15億9百万円、減少要因として棚卸資産の増加9億2千万円、仕入債務の減少10億4千9百万円、法人税等の支払額16億9千3百万円などにより、11億4千2百万円の収入となりました。

POINT 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出9億3千6百万円、無形固定資産の取得による支出5億円などにより、15億7千6百万円の支出となりました。

POINT 6 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の純減額10億4千9百万円、配当金の支払額4億6千3百万円などにより、15億4千4百万円の支出となりました。

POINT 7 売上高、販売費及び一般管理費

売上高は、韓国事業においてセール販売が増加したことなどより前年同期を上回りましたが、セール販売の増加に伴う利益率の低下や、急激な円安によるインポート商品のコスト上昇により粗利益率が悪化し、営業利益は前年同期を下回りました。

会社の概要

商号	株式会社ルックホールディングス
設立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資本金	64億2,232万円
主要な事業内容	グループ会社の経営管理等
従業員数	999名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本店	東京都港区赤坂8丁目5番30号

主要グループ会社

2024年3月28日現在

アパレル関連事業

日本	株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社
韓国	株式会社アイディールック 株式会社アイディージュイ
欧州及び その他海外	Il Bisonte S.p.A.

生産及びOEM事業 株式会社ルックモード

物流事業 株式会社エル・ロジスティクス

役員構成

2024年3月28日現在

代表取締役社長	多田 和洋
専務取締役	澁谷 治男
常務取締役	斉藤 正明
社外取締役	井上 和則
社外取締役	秋葉 絢子
常勤監査役	宇野澤 博文
常勤監査役	水野 信之
社外監査役	服部 滋多
社外監査役	森居 達郎

(注)1. 取締役 井上和則および秋葉絢子の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 服部滋多および森居達郎の両氏は、社外監査役であります。
3. すべての社外取締役および社外監査役を株式会社東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

責任ある企業行動実施宣言を公表いたしました。

ルックグループでは、日本繊維産業連盟が作成・公表した「繊維産業における企業行動ガイドライン」の趣旨を理解し、同ガイドラインに沿って人権尊重の取り組みを継続的に進めております。この度、日本繊維産業連盟の「責任ある企業行動実施宣言」に賛同し、当社の宣言を公表いたしました。

<https://www.look-holdings.jp/csr/relationship/kigyokoudousengen/>

▼QRコード



株式情報

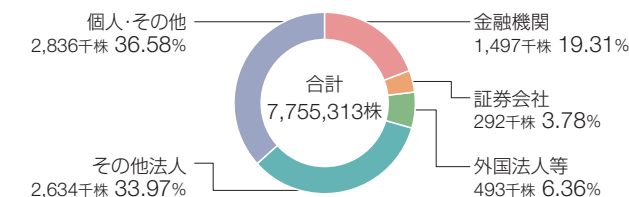
2023年12月31日現在

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,755,313株
株主数	6,689名
大株主	

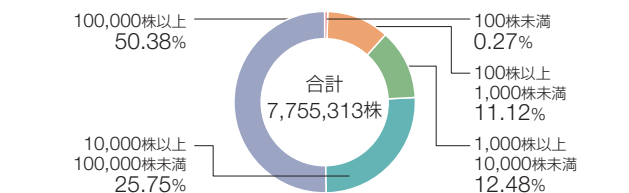
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
八木通商株式会社	935	12.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	504	6.51
美津濃株式会社	369	4.77
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	254	3.29
中島 秀樹	181	2.35
SMBC日興証券株式会社	168	2.17
ルックホールディングス従業員持株会	166	2.15
UAゼンセンルックユニオン	158	2.05
住友生命保険相互会社	154	1.99
特定金外信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	141	1.83

(注)持株比率は、自己株式(11,683株)を控除して計算しております。

所有者別状況(株式数比率)



所有株数別状況(株式数比率)



*自己株式11,683株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「10,000株以上100,000株未満」に含まれております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<https://www.look-holdings.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

IR情報

IR情報ではトップメッセージ、個人投資家情報、決算短信などの各種IR資料やプレスリリース、株価情報など最新情報を掲載していますので、ぜひ一度当社のIRページをご覧ください。

<https://www.look-holdings.jp/irinfo/>

▼QRコード



ルックがお届けするファッションブランド公式通販サイト

「ルックアットイーショップ」

LOOK@E-SHOP

お客様のライフスタイルに合わせ、パソコンやスマートフォンなどからいつでもショッピングをお楽しみいただけます。

<https://www.e-look.jp>

▼QRコード



最新ブランドニュースなど多彩な情報が満載

会社情報、トピックス、採用情報などの最新情報をお届けしています。

▼QRコード



<https://www.look-holdings.jp>



IR
カレンダー

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

決算発表

定時株主総会

第1四半期決算発表

第2四半期決算発表

第3四半期決算発表

株式会社 ルックホールディングス

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番30号



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。